

製品名: CD209 (16J14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08278**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	CD209
別名	CD209 antigen-like protein A; CDSIGN; CIRE; CLEC4L; DCSIGN; Dendritic cell specific ICAM 3 grabbing nonintegrin 1; HIV GP120 Binding Protein; SIGN-R1; SIGNR5;
遺伝子 ID	30835.0
SwissProt ID	Q9NNX6
免疫原	ヒト DC-SIGN の合成ペプチド

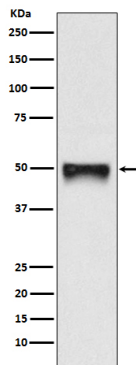
背景

病原体認識受容体は、未熟樹状細胞（DC）の表面に発現し、一次免疫応答の開始に関与する。病原体のエンドサイトーシスを媒介し、その後リソソーム区画で分解されると考えられている。病原体認識受容体は、未熟樹状細胞（DC）の表面に発現し、一次免疫応答の開始に関与する。病原体のエンドサイトーシスを媒介し、その後リソソーム区画で分解されると考えられている。受容体は細胞膜表面に戻り、病原体由来の抗原は MHC クラス II タンパク質を介して休止期 T 細胞に提示され、獲得免疫応答が開始される。

研究分野

-

画像データ



HACAT 細胞溶解物中の CD209 発現のウェスタン ブロット分析。